

酒米「夢ささら」における栽植密度の違いによる収量および収益について

要約

「夢ささら」の安定生産を目指し、異なる栽植密度により栽培を行い、収量性を検証した。栽植密度が高くなるにつれて収量及び収益は向上した。

○ 展示のねらい

酒米「夢ささら」は令和2年産において17haが作付けされたが、収量は506kg/10aと「五百万石」(収量561kg/10a)と比べて低収であり、令和3年産以降の収量向上が求められる。そこで、地域における安定栽培法の確立を図る。

表1 展示内容及び試験区概要

区名	栽植密度 株/坪	肥料	現物施用量 (kg/10a)	窒素 (kg/10a)			りん酸 (kg/10a)	加里 (kg/10a)
				速効性	LPSS100	合計		
試験区1	80	BBひとふりくん プレミアム4号	90	4.5	4.5	9	9	9
試験区2	70							
対照区	60							

(目標収量：540kg/10a)

○ 主な成果

表2 収量と経営試算(円/10a)

区名	栽植密度 株/坪	収量 kg/10a	①収入		支出				所得
			単価 円/60kg	①生産物収入	種苗費	肥料費	その他経費	②支出計	①-②
試験区1	80	634	15,100	159,512	6,525	21,704	52,852	81,081	78,431
試験区2	70	590	15,100	148,588	5,593	21,704	52,852	80,149	68,439
対照区	60	566	15,100	142,343	4,661	21,704	52,852	79,217	63,126

注1) 単価は、令和3年産JA概算金(1等)

注2) 種苗費は、農業経営診断指標(2018年度版)から引用。

使用苗箱数を、60株/坪は20箱/10a、70株/坪は24箱/10a、60株/坪は28箱/10aとし、種苗費を算出

注3) 肥料費は、BBひとふりくんプレミアム4号を3,384円/20kg、ケイカルを407円/20kg(80kg/10a施用)、
ようりんを1,212円/20kg(80kg/10a施用)で算出

注4) その他経費は、農業経営診断指標(2018年度版)から引用。

- ・収量は、試験区1では634kg/10a(対照区比112%)、試験区2では590kg/10a(対照区比104%)と増加した。
- ・所得は、対照区に比べ、試験区1では15,305円、試験区2では5,313円高くなった。

○ 今後の方向性

栽植密度を高くした区では、慣行(栽植密度60株/坪)と比べて多収となり、目標収量540kg/10aを大きく上回ることが確認できた。収益向上が見込めることから、慣行よりも栽植密度を高くするように推進していく。令和4年度では、異なる植付け本数で栽培を行い、収量性について検討する。

実施機関：那須農業振興事務所経営普及部 実施場所：大田原市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315